

Contact: 広報担当(マーケティング部)
Tel: 03-5411-3790
E-mail: Tokyo-RIJ@russell.com

ラッセル・インベストメント株式会社
東京都港区赤坂 7-3-37 プラス・カナダ
www.russell.com

発信日: 2008年1月25日

ラッセルが外国株式ファンドの外部委託先運用会社を変更 ハリス・アソシエイツ/マッキンリー・キャピタル・マネジментを採用

ラッセル・インベストメント株式会社(本社:東京都港区)は、同社が設定・運用管理しているファミリーファンド方式によるマルチ・マネージャー・ファンドの「ラッセル 外国株式マザーファンド」(「ラッセル 外国株式ファンド I」)、「ラッセル 外国株式マルチ・マネージャー・ファンド」【愛称:ワールド・エキスパート】、「ラッセル グローバル・バランス・ファンド(安定型/安定・成長型/成長型)」【愛称:ライフポイント】、および「ラッセル 外国株式マルチ・マネージャー・ファンド(確定拠出年金向け)」の主要投資対象)において、2008年1月25日付で運用会社構成を一部変更し、バリュー(割安)型の運用会社として、ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(以下「ハリス」)を採用いたしました。また、「グロース(成長)型運用」の担当としてアライアンス・バーンスタイン・エル・ピー(以下「アライアンス」)に加えて、新たにマッキンリー・キャピタル・マネジмент・インク(以下「マッキンリー」)を採用しました。これらの変更により、今後当ファンドは、「グロース(成長)型」2社、「バリュー(割安)型」1社、「マーケット・オリエンテッド(市場)型」2社の計5社^{*1}体制で運用してまいります。(下表参照)

ハリスおよびマッキンリーはともに、ラッセル・インベストメントの運用会社調査チームが高い評価を与えている運用会社です。

ハリスは、定性および定量分析に基づいて割安な銘柄を発掘し、それらに長期的な観点から投資を行います。具体的には、今後収益を生み出すことが期待でき、かつ株主を意識した経営を行っている割安な銘柄を投資対象とします。ベンチマークをあまり意識しない運用を行う結果、同社の構築するポートフォリオの国別およびセクター別の配分は、ベンチマークから大きく乖離することもあります。

マッキンリーは、株価のモメンタム、企業収益の伸び、および収益面でのポジティブ・サプライズ(予想を上回る決算発表等)に注目する「グロース(成長)型運用」を行います。同社では、まず40,000以上の銘柄を対象に定量的な分析を行うことによって銘柄の絞り込みを行います。この結果に定性的な分析を加え、最終的には45-60銘柄程度から成るポートフォリオを構築します。同じ「グロース(成長)型運用」を担当しているアライアンスに比べて、同社はより株価モメンタムを重視した運用を行うことから、両社を併用することで相互補完性も期待できます。

以上の理由から、両社の採用がファンドのパフォーマンス向上に資するものと考え、運用会社構成の変更を決定致しました。

ラッセル・インベストメントは、継続的な運用会社調査の一環として年間約8,000の運用プロダクト^{*2}をモニターしています。その中から約200のプロダクトが、現在当グループのマルチ・マネージャー・ファンドに採用されています。こうした運用委託先を組み合わせることにより、リスク分散されたポートフォリオを構築します。今回の変更は、ラッセルによる継続的な運用会社調査および資本市場調査の結果に基づくもので、マルチ・マネージャー・ファンドならではの特徴の一つです。ラッセルのマルチ・マネージャー・ファンドでは、今後も市場や状況の変化等に応じて、適切な運用会社構成の変更を実施してまいります。

＜「ラッセル 外国株式マザーファンド」の外部委託先運用会社構成＞

運用会社	運用スタイル	目標配分比率
アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー	グロース(成長)型	30%
マッキンリー・キャピタル・マネジメント・インク	グロース(成長)型	10%
ハリス・アソシエイツ・エル・ピー	バリュー(割安)型	15%
エムエフエス・インスティテューショナル・アドバイザーズ・インク	マーケット・オリエンテッド(市場)型	25%
アローストリート・キャピタル・エル・ピー	マーケット・オリエンテッド(市場)型	20%

※1 ラッセル・インベストメント内の関連会社を除く外部委託先運用会社の数を指しています。

※2 個々の運用会社の運用手法を指し、運用会社によっては複数所有しているところもあります。

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントは、今日世界 44 カ国において、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用ソリューションを提供しています。グローバルに行う運用会社調査をもとに、世界最高水準の運用会社へのアクセスを提供することに強みがあり、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金サービス、資産運用コンサルティング、売買執行管理、株式インデックスの開発など幅広く業務を行っています。現在当グループが提供するファンドの運用資産総額は約 27 兆円^{*}、また資産運用コンサルティング・サービスの対象資産総額は約 224 兆円^{**}となっています。グループの創立は 1936 年。米国ワシントン州タコマを本拠地とし、アムステルダム、オークランド、サンフランシスコ、シドニー、シンガポール、東京、トロント、ニューヨーク、パリ、香港、メルボルン、ヨハネスブルグ、ロンドンに主要拠点を擁しています。米国最大手の個人生命保険会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランスの子会社です。

日本においては 1986 年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは、www.russell.com をご覧ください。

(^{*} 2007 年 9 月末現在 ^{**} 2006 年 9 月末現在、グループ合算)

Copyright © Russell Investments 2008. All rights reserved. ラッセル・インベストメントは世界中の拠点を通じて事業を展開しています。「ラッセル・インベストメント・グループ」、「ラッセル・インベストメント」および「ラッセル」は、フランク・ラッセル・カンパニーおよびその子会社等の総称です。当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。当資料は、一般的な情報の提供を目的としており、特定の運用商品の推奨等の投資勧誘を目的としたものではありません。当社による事前の書面による許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮下さい。